

買い物支援に関する情報の提供について

1. 買い物支援に関する情報の一元化に向けた取組

運転免許の返納、加齢等による身体機能の低下、店舗の減少など、様々な要因により、買い物に支障が生じている高齢者等が増えています。

現状を踏まえて、茅ヶ崎市では、生活支援体制整備事業で運用している「茅ヶ崎市地域包括ケア支援システム」を活用し、買い物支援に関する情報の一元化に取り組みます。

2. 買い物支援に関するこれまでの経過（背景）

①第4回 ちがさきオレンジDay（R4.9.24開催）

「免許を手放した人を地域で支える」をテーマにシンポジウムを開催。
移動支援や買い物支援について情報交換を実施しました。

②令和4年度 地域ケア推進会議（R5.1.19開催）

「身体機能の低下や運転免許の返納などにより、買い物のための外出が困難になった方への支援について」をテーマに意見交換を実施しました。
会議の中で、買い物支援に関するサービス等について、情報がまとめて提供される仕組みがあると良いとの意見がありました。

3. 買い物支援に関する課題

①情報不足

大型スーパーの商品お届けサービスや通信販売サイトなど、活用できるサービスはあるが、情報が分散していて見つけることができない。
地域の商店等の中には配達サービスなどを実施しているところもあるが、必要な方に情報が届いていない。

②移動支援

買い物等の支援のための車両の運行への要望が多くあるが、運転手などの人的資源、車両などの物的資源、運行時の事故等に備えた保険についてなど、課題が多く、一部地域での実施にとどまっている。

4. 情報提供の方法

①KINTONEの活用

茅ヶ崎市では、クラウドサービスのKINTONEを業務に活用しています。

買い物支援に関する情報の提供にあたっては、KINTONE のサービスを活用することを検討しています。

②情報提供する店舗等のイメージ

以下の条件にあてはまる店舗等を掲載する予定です。

- ・店頭販売以外の販売手段（配達・通信販売等）を持っていること
※店舗購入後の配達サービス含む
- ・食品や生活に必要な日用品（洗剤、衣服等）の取り扱いがあること
- ・市内に店舗等がある、又は茅ヶ崎市内在が配達等の対象範囲となっていること
- ・飲食店については、出前サービスを行っていること
※テイクアウトのみのサービスを行っている店舗は掲載しない。

③利用方法（情報の入手）

情報を入手するためには、パソコンやスマホで検索をする必要があります。

本人が検索等出来ない場合には、ご家族や地域の支援者、地域包括支援センターなどの相談機関の職員が検索して、情報を伝えることを想定しています。

5. 商工会議所との連携

システムに掲載する情報の充実を図るため、情報収集にあたって、商工会議所の会員の商店等への周知協力を依頼しています。

6. スケジュール（案）

- 8月：第一層協議体で説明
- 10月：掲載する情報の項目を決定
- 12月：掲載する店舗等から情報収集
- 3月：サイトに掲載